

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号 231K

報告日 令和6年12月27日

報告回次 1日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	伊賀市	代表者名	岡本 栄
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル自治推進局
担当者役職	主任	担当者氏名	北森 江里佳
住所	518-8501 三重県伊賀市四十九町3184番地		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	職員向けDX研修
概要	職員のDX推進に係る意識醸成及び具体的なDX推進手法を習得するための研修。		
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成)		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	220	令和6年12月25日	事前打合せ	オンライン
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年12月20日	事前打合せ(オンライン)	10時00分	10時40分	
			活動時間(分)	40	
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	市役所職員の意識の傾向や、市を取り巻く実情を把握しており、話が大変早く進むこと。傾聴の姿勢で、一旦こちらの話を聞いてくれるところ。物腰柔らかくて話しやすいところ。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	3人
	属性 自治体職員 住民 企業・団体	企業・団体	その他(学生など)
	人数 3 0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">業務改善(BPRやDXなど)の必要性について理解し、職員の意識醸成を図る。職員数が減少しても持続可能な行政経営のために、職員一人ひとりが、取り組むべきことについて考える。前例踏襲や現状維持で良いという考え方を改める。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	一般職員に向けて広く研修をしていただき、職員の意識を醸成することで、下記の成果を目指す。 <ul style="list-style-type: none">組織や伊賀市の未来に対して危機感を抱ける他人事ではなく、自分事として考えることができる持続可能な行政経営職員数が減少しても運用可能な業務フローの構築事業のスクラップ

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	2月27日、28日に開催する職員向け研修の事前打ち合わせ。 ・研修の目的 ・研修内容 ・準備物 ・研修スケジュール	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	研修当日の準備物、会議室のレイアウト、研修に用いる手法、必要なデータがわかったので、研修開催に向けて準備を進める。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 研修未実施のため、現時点では成果物は無い。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	研修で提示していただく、伊賀市独自のデータ(採用試験の倍率、時間外、若年層の離職(35歳以下))については後日提出。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修が未実施のため、現時点ではアンケートは行っていない。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい 2/27,28に職員研修を実施する。	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	職員の業務負担の軽減、事業数の適正化、人事評価の厳格化	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

